

**住み慣れた地域で
生活し続けるために**

(ふれあいサロンの取り組み)

倉敷市玉島南高齢者支援センター

高齢者支援センターとは

- 高齢者支援センターは、高齢者が住み慣れた地域で安心して過ごすことができるよう、介護保険制度による公的サービスのみならず、その他の身近な社会資源を活用しながら、誰もが自立した生活ができるように支援する役割が期待されている。

高齢者支援センターの業務内容

- 介護予防の推進
- 総合的な相談・支援窓口
- 教室の開催
- 申請手続きの受付・代行
- 高齢者の権利擁護
- ケアマネジャーの支援
- 指定介護予防支援事業所

小地域ケア会議について

- おおむね小学校区を単位に開催
- 情報共有及び課題解決の場
- 地域に存在する関係機関の連携を図る
(民生委員児童委員、愛育委員、栄養委員、
老人クラブ、社会福祉協議会、医療機関、
行政など)

玉島南地区の高齢者人口

平成23年 3月末現在	玉島南 地区全体	玉島南	沙美	南浦
総人口	11,367	8,874	1,411	1,082
高齢者人口	3,429	2,448	539	442
65歳～74歳	1,713	1,288	239	186
75歳以上	1,716	1,160	300	256
高齢化率	30,2%	27,6%	38,2%	40,9%

玉島南地区の世帯状況

平成23年 3月末現在	玉島南 地区全体	玉島南	沙美	南浦
世帯数	4,327	3,313	571	443
高齢者 単身世帯	661	451	112	98
高齢者単身 世帯の割合	15,3%	13,6%	19,6%	22,1%
高齢者のみ 世帯	1,326	919	221	186
高齢者のみ 世帯の割合	30,6%	27,7%	38,7%	42,0%

取り組みの流れ

「誰でも気軽に集まれる場があったらいいなあ」
「自分達のためにも集まりの場を作ろう」



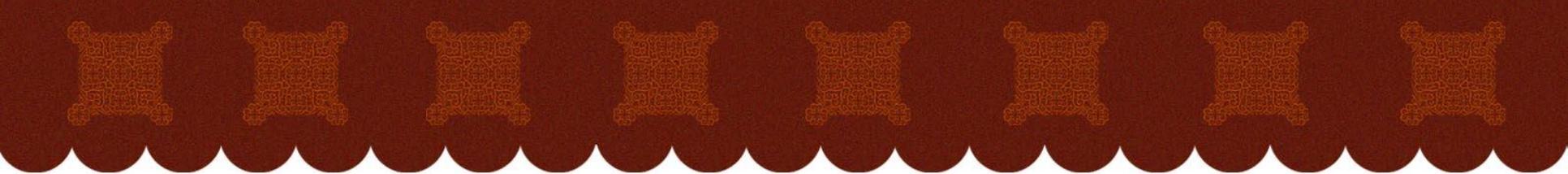
立ち上げに協力



沙美スイトピー、沙美ひまわりの2ヶ所出来た。

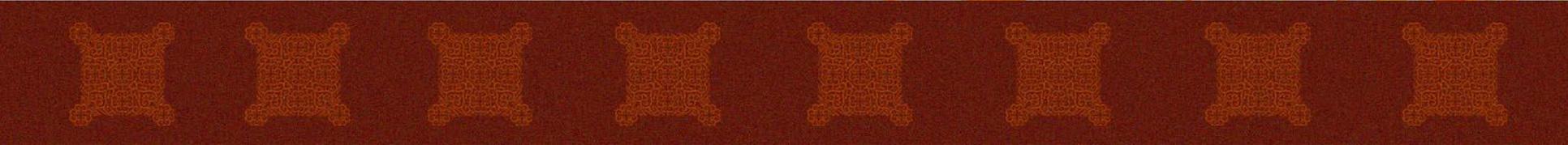
サロンとは？

- 高齢者の孤立や閉じこもり防止、介護予防、社会参加、仲間づくりなどを目的とした、地域内で住民が自主的に行う福祉活動
- 無理なく、気軽に、歩いていける範囲のご近所同士で集まり、おしゃべりやレクリエーションなど参加者同士で話し合っ



サロンが立ち上がるまで

小地域ケア会議を通じた取り組み



テーマ：高齢者の見守りと集まりの場 (平成22年7月31日)

- 1人暮らしでも自立している方は大勢いる
- 買物などで困っている人もいるが、近所の人に乘せてもらって解決している人もいる
- いつ、何が起きるか分からないが、本人を中心に近所の2～3人で協力して支えあっている人もいる
- 元気な人でも誰かと話がしたいとお店に来て、夕方まで過ごす人もいる

テーマ：高齢者の集まりの場 (平成22年10月23日)

- 海岸で行われている男性の集まり
- 生協の組合活動
- 茶話会



「誰でも気軽に集まれるサロンのような小さな集まりがたくさんあったらいいのではないかと。それを通じてお互いに助け合える仲間づくりが出来たらいいのではないかと」

テーマ：高齢者の集まりの場 (平成23年1月22日)

- 「倉敷市ふれあいサロン活動促進事業」紹介
 - ふれあいサロンの啓発用ビデオ視聴
-
- ・ サロンは、地域の住民が自主的に行う活動
 - ・ 目的は、社会参加、健康づくり、仲間づくり
 - ・ 近所同士が支えあえる地域づくり

テーマ：高齢者の集まりの場 (平成23年1月22日)

- 必要性は感じるがお世話する人が大変そう
- ある程度費用もかかるのではないか
- 考えてばかりいても進まないの、5～6人ぐらいからでもやってみないとわからない。

委員の中で自宅を提供してもよいという方が2名いたため、具体的な取り組みを行うこととなる。

サロンの準備

(平成23年3月～4月)

①協力者を募る

②事前会議

(目的の共有、対象者、範囲、周知方法)

③チラシを作成し、対象者へ案内

「案内チラシ」

様



〇〇ふれあいサロン(仮称)のお知らせ

一緒におしゃべりしませんか?

サロンは歩いて行ける範囲で”楽しく 気軽に 無理なく”お茶を飲みながらおしゃべりや好きなことをみんなで決めて行う活動です。

日 時 平成23年〇月〇日(〇) 13:30~15:30

場 所 〇〇〇〇

内 容 お茶を飲みながらのおしゃべり

会 費 100円

(応援) 沙美小学校区小地域ケア会議

(会議のメンバー) 民生委員児童委員、愛育委員、栄養委員、老人クラブ、ひとり暮らしの会
保健推進室、社会福祉協議会、玉島協同病院、玉島南高齢者支援センター

沙美スイトピー

第1回 平成23年4月27日(水)

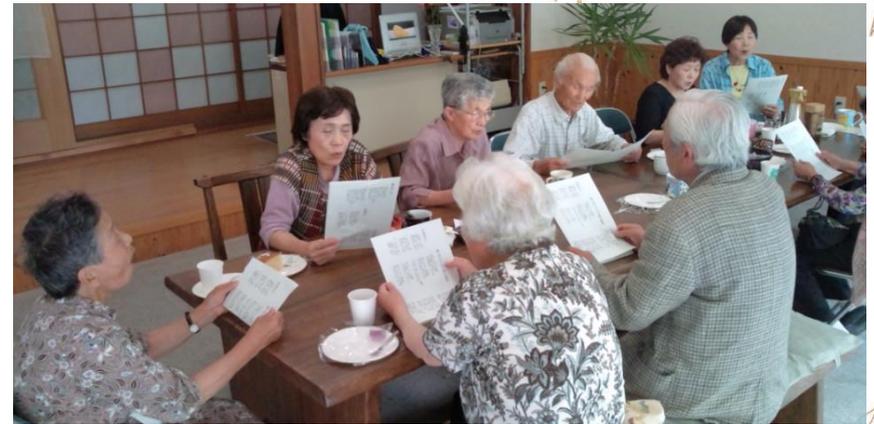
- 沙美小学校近辺の方を対象
- 案内は個別に手渡し
- おしゃべり中心の集まり
- 月1回の開催(毎月第4水曜日)

サロンの様子(6月)

おしゃべり(沙美の思い出)



懐かしい歌の合唱

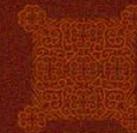
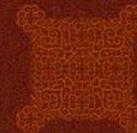
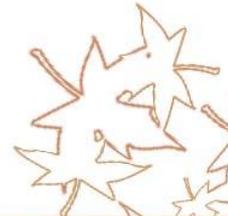


サロンの様子(7月)

沙美海岸での思い出



レクリエーション



沙美ひまわり

第1回 平成23年5月9日(月)

- 沙美東1班～3班の方を対象(50数件)
- 案内は全戸配布、対象になりそうな方には、
直接呼びかけ
- 何をするかはみんなで考える
(市の出前講座や参加者の趣味・特技など)
- 月1回の開催(毎月第2月曜日)

サロンの様子(9月)



まとめ(取り組みを通じた気づき)

- 住民(参加者、協力者)の主体性
- 時間をかけて作り上げ、活動を継続する
- 「集まりの場」の必要性
- サロンを通じた見守りや助け合いの仲間づくりの可能性

今後に向けて

- 誰か心配な人がいた時、
「どうすればその人を中心に、住み慣れた地域
でいきいきと暮らしていけるのか」

本人、家族、近所、住民福祉関係者、高
齢者支援センターを始めとする福祉関係
者が一緒になって、その人を支える方法を
考える。

今後の課題

- 買物や病院受診など移動の困難さ
- 認知症かどうか気になる人の存在
- 災害から地域と人を守るための仕組み

一人一人の生活課題への対応と
地域全体の抱える生活課題への対応

ご清聴、ありがとうございました。
これからもよろしくお願いいたします。



玉島南高齢者支援センター職員一同